

## カンボジアで日本の「ため池」技術を活用

### 干ばつ被害に苦しむ農民を支援

国際協力機構(JICA)は「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」においてシバタ工業株式会社(兵庫県明石市、柴田充喜代表取締役)が提案する「灌漑用水用ため池事業推進計画に関する案件化調査」(カンボジア)を採択しました。

カンボジアは近年干ばつ被害が深刻になっており、水不足が農民たちを悩ませています。農業用水確保のためには適切な水資源の管理が必要とされていますが、地方の農村では特に、灌漑施設が充分整っていないのが現状です。

この問題に対し、設立60年以上の歴史を持つシバタ工業株式会社は、天蓋付シート式ため池 Shibata Rubber Pond “NON-EVAPO SYSTEM” を用いて農業用水の確保を目指します。

同製品はため池の底面の遮水シートと特許工法である天蓋によって水の蒸発防止および水質保全に役立つことが実証されています。今回の案件化調査において、シバタ工業はカンボジアの農村開発省と協力し、現地のため池での実証試験や現地進出に向けた法制度等の調査、現地ニーズの確認等を行います。



現地のため池



現地での実証実験の様子

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。36件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第2回公示の採択結果について

URL: [https://www.jica.go.jp/press/2016/20170130\\_01.html](https://www.jica.go.jp/press/2016/20170130_01.html)

#### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第一課 小西  
TEL 03-5226-9283 e-mail: pdtfs@jica.go.jp